

東洋合成工業株式会社 個人投資家様 会社説明会

(証券コード：4970)

2022年1月7日~8日

 TOYO GOSEI

1. 東洋合成とは？

2. 事業内容～なぜ東洋合成なのか？

3. 足元の業績見込みと中計進捗

4. 今後の成長性

- 社名： 東洋合成工業株式会社
- 設立： 1954年（昭和29年）9月27日
- 代表者： 代表取締役社長 木村 有仁
- 所在地： （本店）千葉県市川市上妙典
（本社）東京都台東区浅草橋
- 資本金： 1,618百万円 **（独立系2代目）**
- 売上高： 27,164百万円
- 従業員数： 728名
- 上場市場： 東京証券取引所 ジャスダック市場
- 証券コード： 4970
- 単元数： 100株

経営理念

東洋合成工業は、人類の文明の成長を支えるため、
人財・創造性・科学技術を核として事業を行い、
その寄与度を高めるためにも成長する



代表取締役社長
木村 有仁

- 持つものと、持たざる者の違い = 科学技術 ➡ 日本の復興
- 「アジアから世界に化学技術で貢献する事業を」との思いから、「東洋合成工業」を創業

“当社の発展を支えてきたアイデンティティ”



創業者 木村 正輝

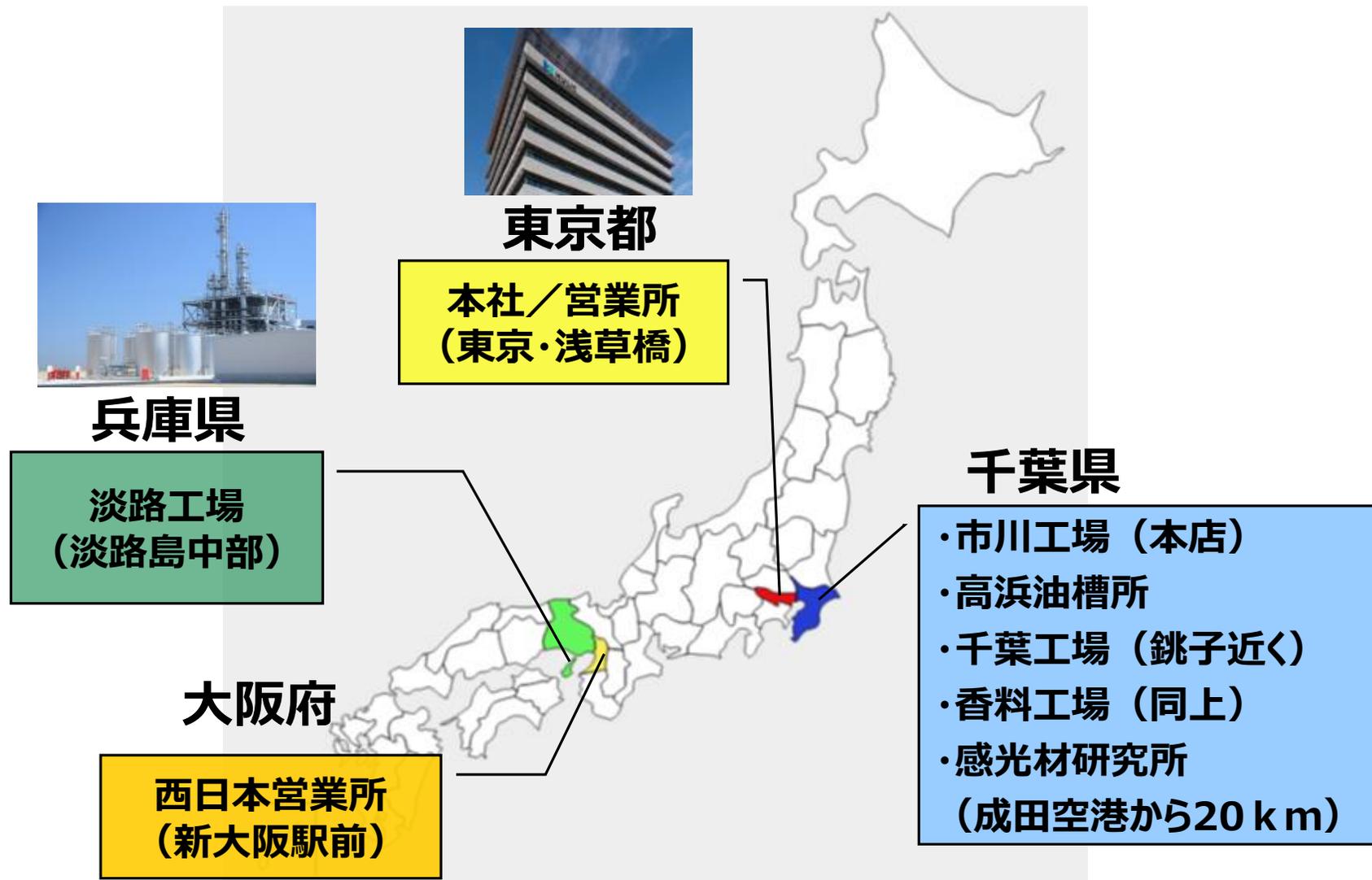
- 時代に必要とされるものを作る
- 他社が作れないものを作る
- 研究開発と技術を核とする
- あきらめず、愚直に、誠実にやる

“顧客課題を真摯に解決する”

➡ 独創性・グローバルニッチトップへ

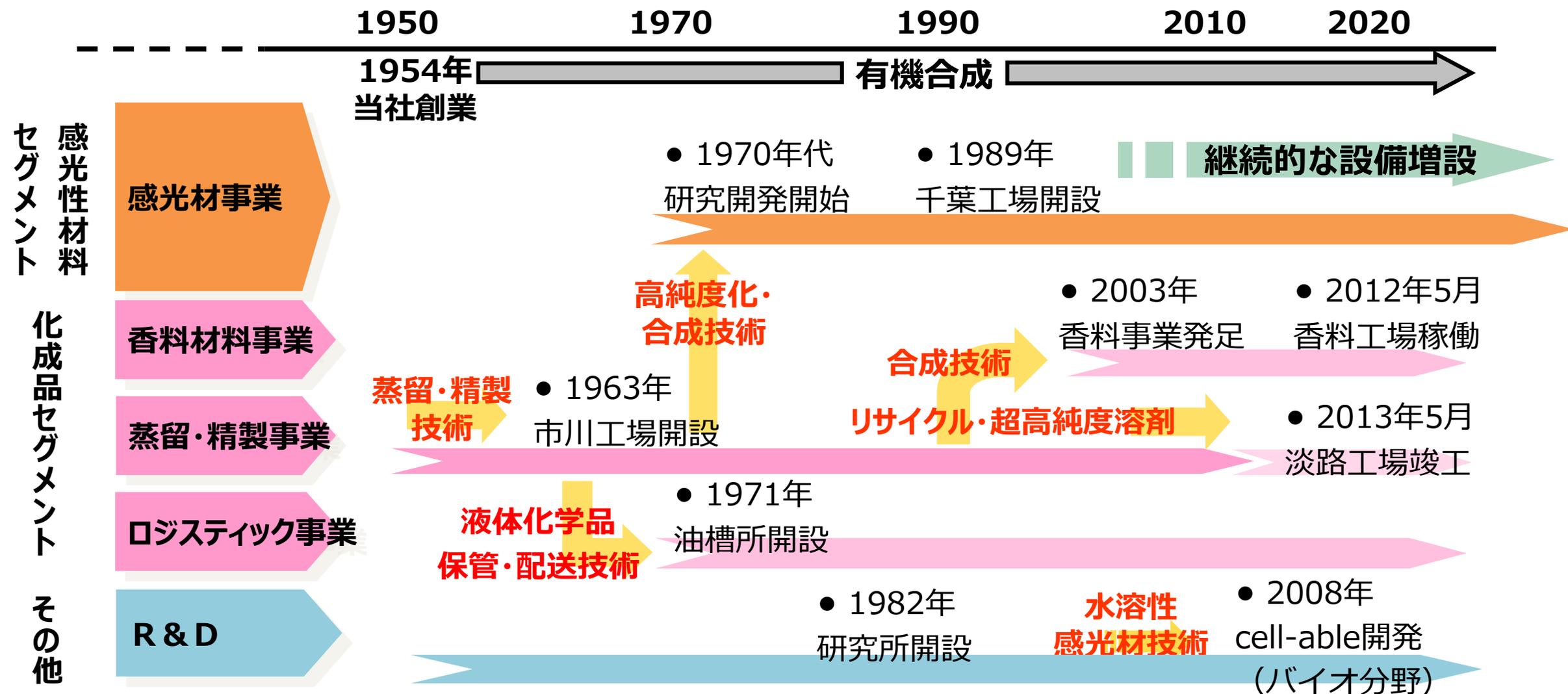
事業所の所在地

- 国内8拠点（4工場）で事業を展開
- 国内だけでなく、海外売上高比率は約3割とグローバルに供給



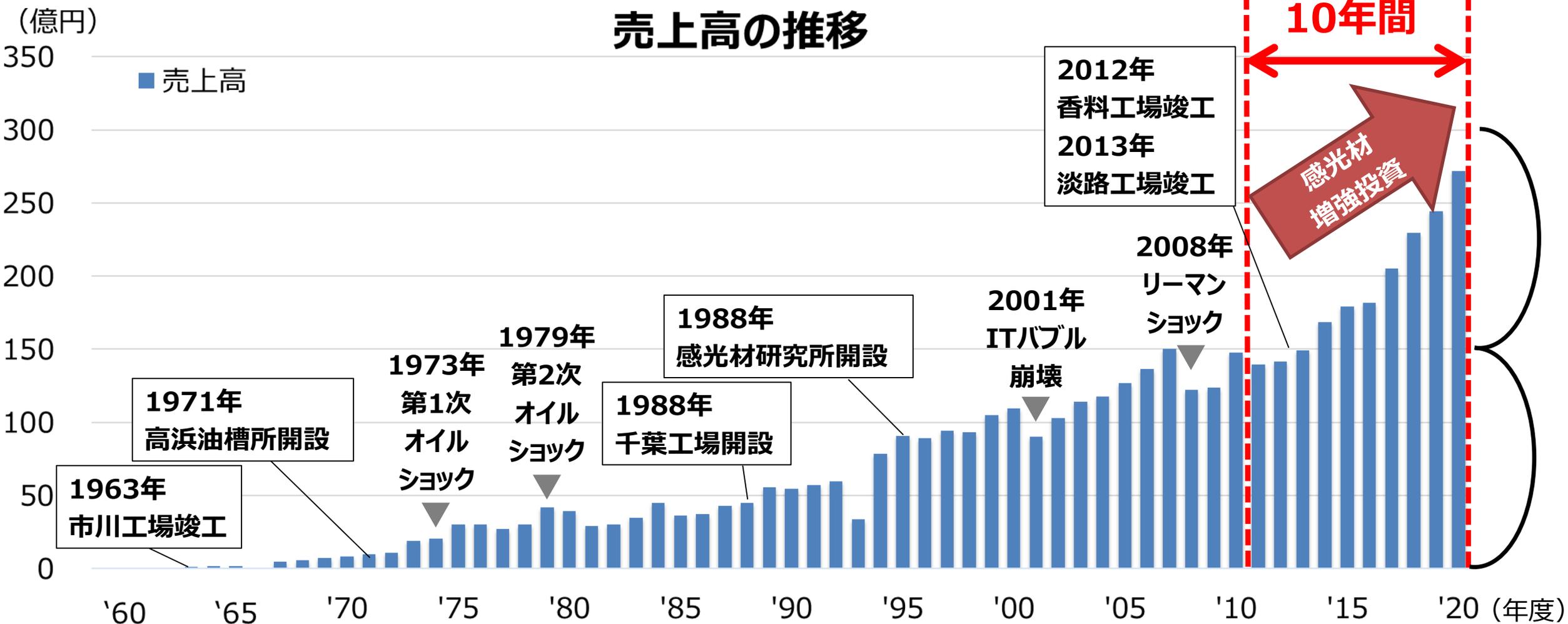
現在までの事業展開

- 常に時代のニーズを先読みし、事業を発展
- 1954年の創業以来、「有機合成」と「高純度化技術」を核に展開



売上高の推移

- 創業来65年、激しい変化の中、“**研究開発を生命線**”に着実に成長
- 直近10年間は、売上高150億円から300億円へ倍増



- 売上の8割以上が、半導体・ディスプレイ・その他電子材料関係であり、今後、更なる売上拡大が見込まれる。



香料材料



ロジスティック



感光性材料
セグメント

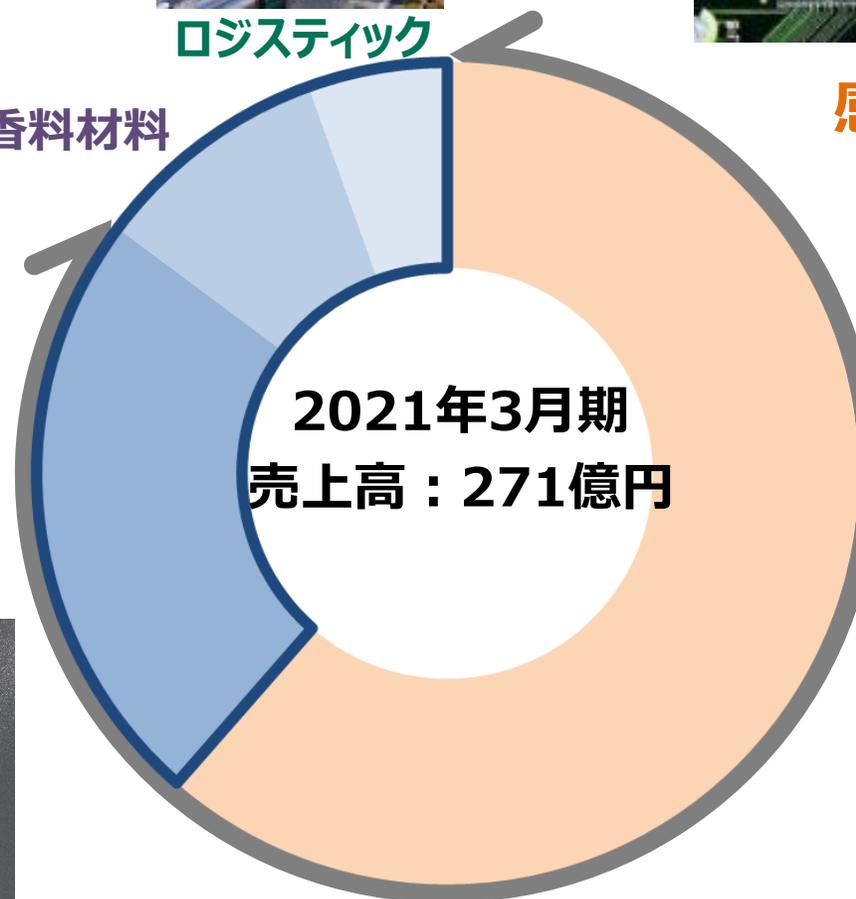
59%

半導体・ディスプレイ・
その他電子材料関係
(感光材・ポリマー、高純度溶剤)



化成品セグメント
41%

高純度溶剤



社外からいただいている評価

- 「グローバルニッチトップ企業 100 選」：“半導体材料トップシェア”
- 2021年度「JPX日経中小型株指数」構成銘柄株：“投資者にとって投資魅力の高い会社”
- DBJ BCM格付け：“防災及び事業継続への取り組みが特に優れている企業”
- エコバディ sustainability 調査シルバーメダル：“「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」”



当社は2011年12月日本政策投資銀行（DBJ）よりDBJ BCM格付融資を受け、格付結果は「事業継続に対する取り組みが特に優れている」と評価されました。

BCMS ISO 22301

日本政策投資銀行
BCM格付け

「グローバルニッチトップ企業
100選」

2021年度「JPX日経中小型
株指数」構成銘柄株

ハラール認証

- 環境調和型のDX社会の実現に向け、事業活動を通してお客様の課題解決に貢献。
- 未来に向けて、ESG、SDGsを推進



未来創造型の化学メーカーとして、経営理念を礎に、4つの責任を掲げ、地球環境の改善、人類文明の成長に貢献

- 化学メーカーとしての責任(安全・環境)
- 素材産業としての責任(品質・労働安全衛生)
- 人々の未来を支える責任(研究開発・社会貢献)
- すべての事業活動の基本となる責任 (人材・ダイバーシティ、ガバナンス、コンプライアンス)



- 当社取締役 平澤聡美
感光材事業部長
ダイバーシティ担当役員
- 「日経WOMAN」
ウーマンオブザイヤー2022
【理系の新・ロールモデル賞受賞】
(後援：内閣府)



- 男女共にワークライフバランスを保ち、イキイキと働ける職場づくり、環境整備を推進

【奨学金】

- 東庄町、早稲田大学
- 東洋合成記念財団 (各大学)



- 鹿島アントラーズも応援

1. 東洋合成とは？

2. 事業内容～なぜ東洋合成なのか？

3. 足元の業績見込みと 中計進捗

4. 今後の成長性

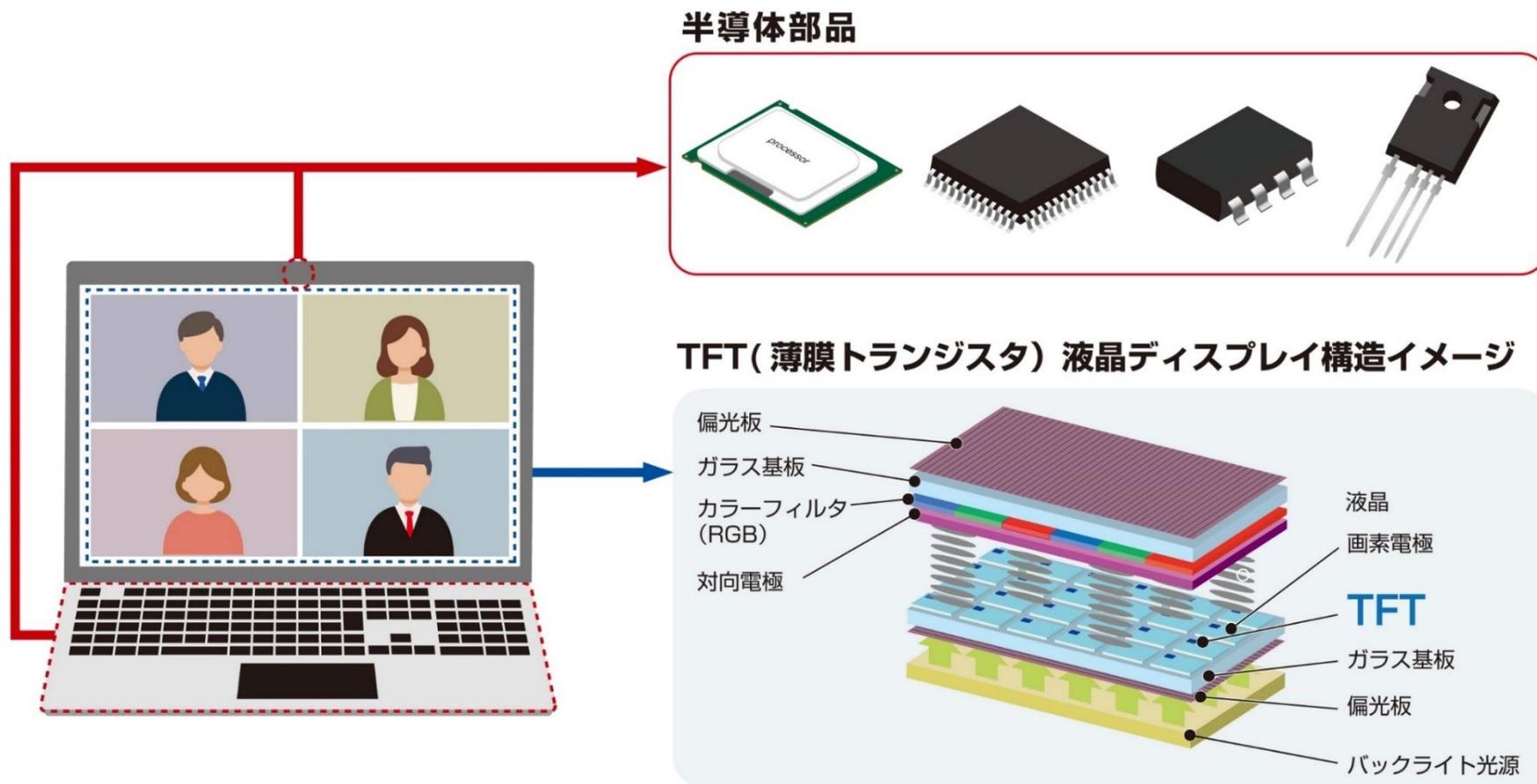
① 電子材料を多角的に展開、半導体/ディスプレイ材料 世界No.1シェア

② 香料材料でグローバルニッチトップのポジション

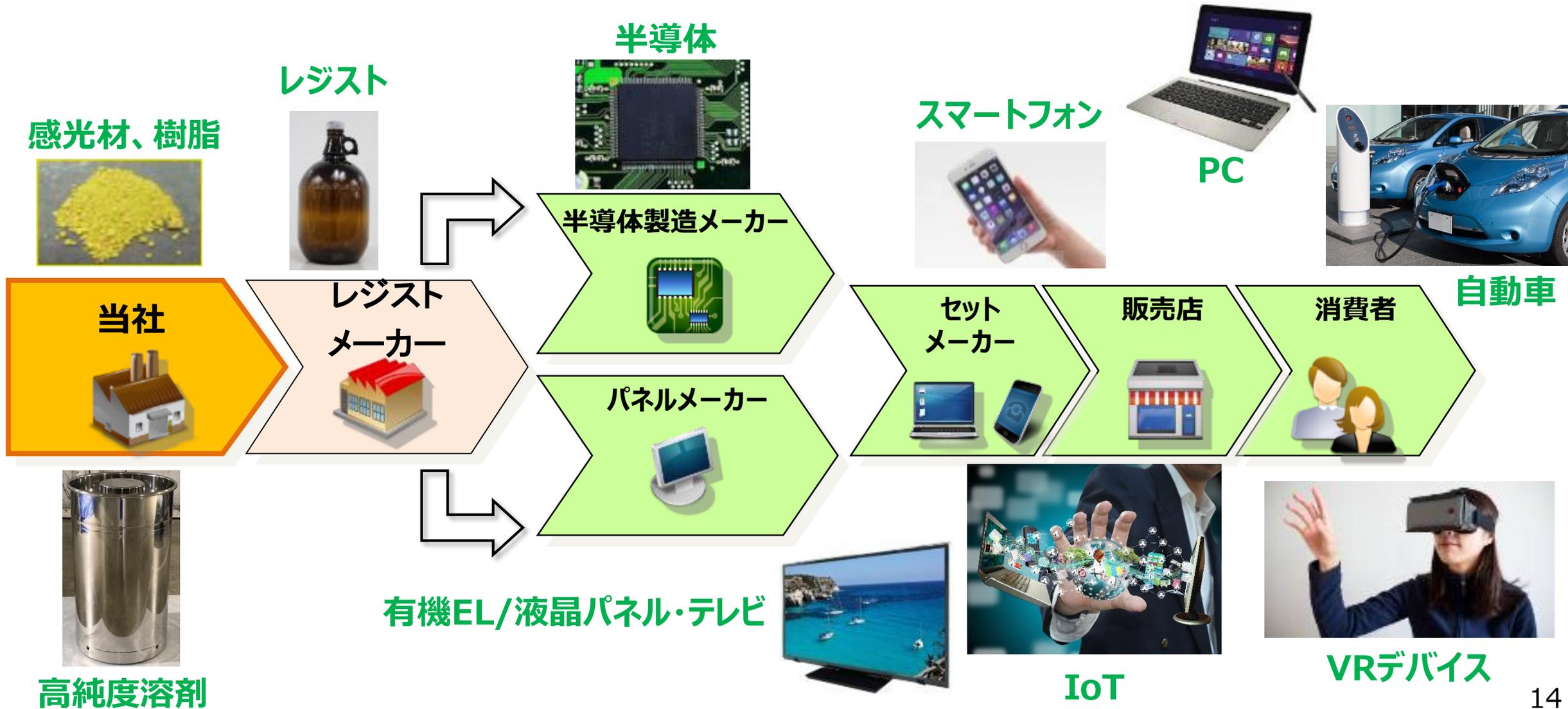
③ 化学メーカーが運営するタンクターミナル

“半導体/ディスプレイ材料 世界No.1シェア” を確立

- 例えばPCには、たくさんの半導体部品や表示装置が搭載されており、当社製品はその製造に必須
- 当社はディスプレイや汎用～最先端半導体用途まで**全てに使われる材料を供給**



- 半導体やFPD（フラットパネルディスプレイ）製造に必須な、**フォトレジストに使われる感光材をグローバルに供給**
- 半導体やディスプレイ利用のすそ野の拡大に伴い、感光材などの**販売量も急増**



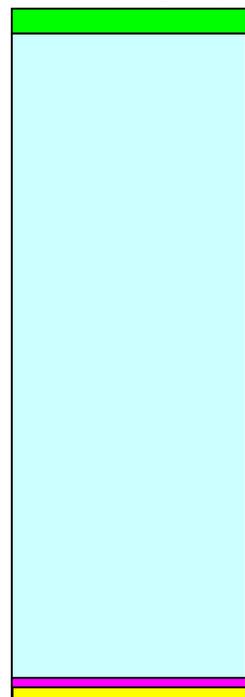
- 光に反応する薬液がフォトレジストであり、当社はその性能を決めるキー材料（感光材、ポリマー、溶剤）を製造。



フォトレジスト（液体）

※レジストメーカーにて調合。

フォトレジストの中身



計 100%



添加剤（界面活性剤 etc.）

超高純度溶剤

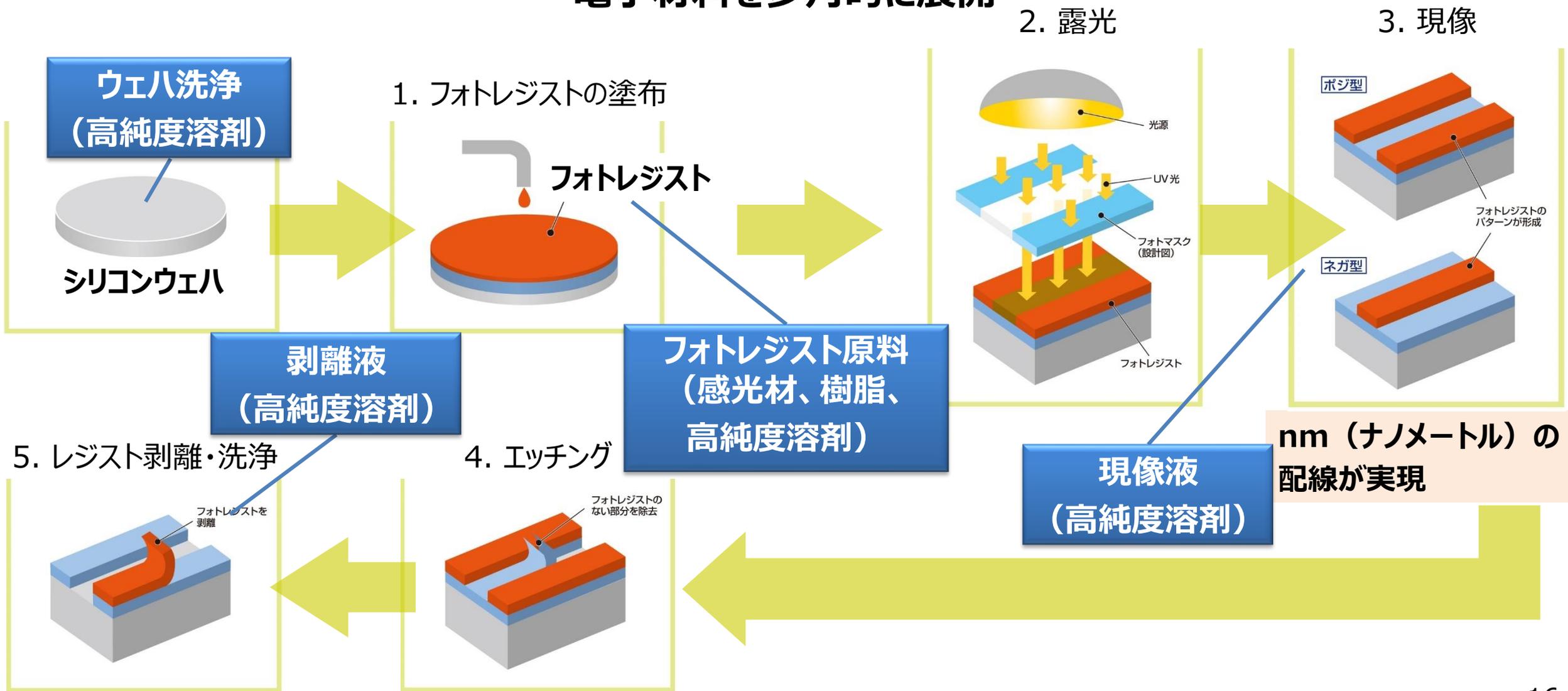
感光材（光に反応する部分）

ポリマー（固まるところ）

当社製品

- 当社製品（感光材、樹脂、高純度溶剤）は、電子回路形成のあらゆる所で使用される

“電子材料を多角的に展開”

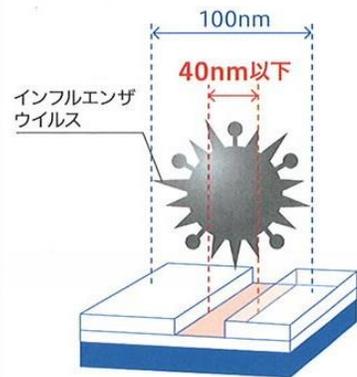


- ディスプレイのきれいさ、計算能力の性能・容量 = 配線の細かさ
- ウィルスよりも小さい線幅 (10nmレベル) での配線。
- 原料は、ppb (10億分の1)、ppt (1兆分の1) の不純物管理を実現し、安定供給。

創業以来培ってきた、“精密合成”と“高純度化”で、厳密な品質レベルを実現

ウイルスよりも細い線で
半導体は製造されています

半導体製造技術は数年ごとに微細化しています。現在ではインフルエンザ・ウイルス(直径100nm)よりもはるかに細い40nm以下の線を描けるほどになっています。この微細な技術が半導体製造を支えているのです。



- 10nmはどれくらい細かいのか・・・？
➡ 髪の毛 (0.1mm) と比べると・・・約1/10,000
- 1ppbは・・・0.0000001%
➡ 50m (縦50m、横10m、深さ2m) プールの中の水のうちの1ml
- 1pptは・・・0.0000000001%
➡ 50m (縦50m、横10m、深さ2m) プール1,000杯分の水のうちの1ml

米粒で例えると・・

55万本の線が引けます

当社の電子材料向け製品の特徴

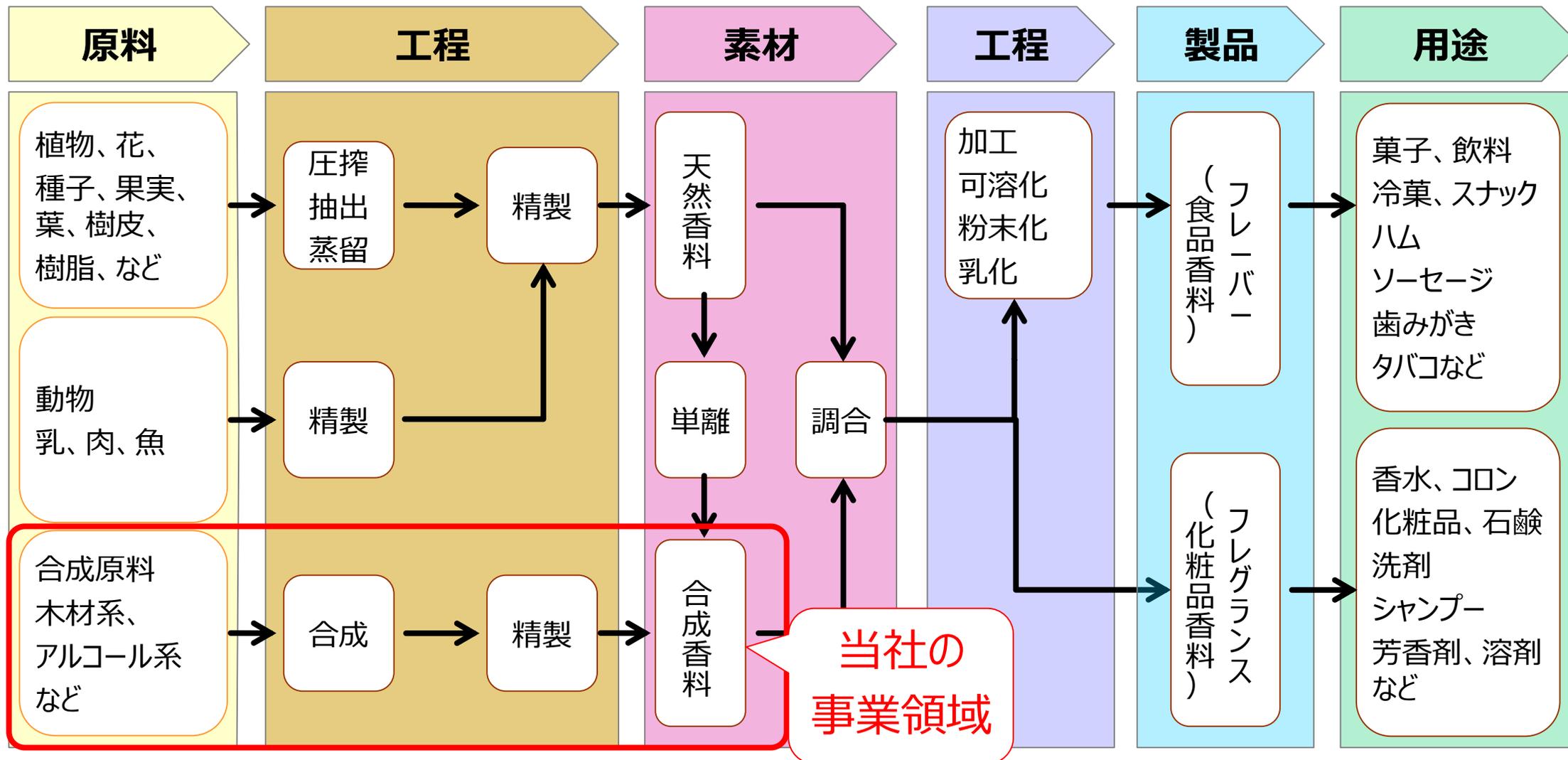
- 半導体の黎明期から、40年の感光材製造経験→設備・合成・精製に数多くのノウハウ
- 最先端～全ての世代の、感光材と樹脂を供給できる世界唯一のメーカー
- 少量多品種～大量生産まで、多様な生産ラインと40年の経験値で、あらゆるニーズにオーダーメイドで対応

← 既存品	FPDパネル用		半導体用								→ 先端品
光源	g + h + i 線	i線 (365nm)	g線 (436nm)	i線 (365nm)	KrF (248nm)	ArF (193nm)	ArF液浸 (193nm)	ArF DP (193nm)	ArF MP	EUV (13.5nm)	
線幅	~ 2,000nm	~ 1,000nm	~700nm	~200nm	~110nm	~65nm	~45nm	~22nm	~7nm	~5nm	~2nm
用途	テレビ用、 一般用	中小型 パネル スマホなど	IGBT、LCDドライバ、 LED		DRAM/NANDメモリ 需要拡大			次世代DRAM テスト生産			
			後工程用パッケージ材料 CMOSセンサー		先端ロジックLSI 需要拡大			次世代ロジックLSI EUV生産拡大			
市場	需給ひっ 迫	中国 パネル 需要拡大	緩やかに 拡大	緩やかに 拡大	緩やかに 拡大	横ばい	量産拡大 半導体設備投資拡大		半導体設備投資 加速		開発中
当社製品	感光材 (PAC) 高純度溶剤				光酸発生剤 (PAG) 樹脂 高純度溶剤						

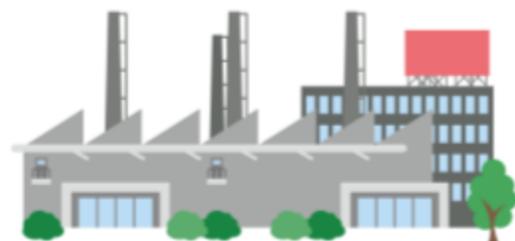
- ① 電子材料を多角的に展開、半導体/ディスプレイ材料 世界No.1シェア
- ② 香料材料でグローバルニッチトップのポジション**
- ③ 化学メーカーが運営するタンクターミナル

香料のサプライチェーン

- 人間の鼻はppb(10億分の1)を嗅ぎ分ける→高純度が必要
- 需要が安定成長(年平均3~4%)する合成香料を事業領域としている。
- 製品別の世界シェアは30~40%の、**グローバルニッチトップ**のポジション



- ① 電子材料を多角的に展開、半導体/ディスプレイ材料 世界No.1シェア
- ② 香料材料でグローバルニッチトップのポジション
- ③ **化学メーカーが運営するタンクターミナル**



① 化学品をケミカルタンカーで輸送



② タンカーからタンクへ



④ タンクローリーやドラムへ充填

③ 万全の品質管理で安全に保管



⑤ 首都圏の需要家へ配送





高機能な化学品保税タンク計65基

“東京湾内最大級の荷動き量”

創立50周年

“高い参入障壁と好立地条件”

- 東京湾岸、高速出入口まで5分と抜群の交通アクセス
- 外環道の開通により利便性がさらに向上
- 消防法規制により新規参入は困難
- 不況にも強い

“化学品メーカーの品質管理で幅広い化学品に対応”

“提供サービスを差別化”

- 化学メーカーが運営する唯一のケミカルタンクターミナル
- あらゆる荷姿に対応、独自の分析室も完備



東京湾内最大の荷動き量 1日100台のローリー出荷

1. 東洋合成とは？

2. 事業内容～なぜ東洋合成なのか？

3. 足元の業績見込み と 中計進捗

4. 今後の成長性

■中期経営計画のビジョン

顧客課題、技術課題一つ一つを真摯に独創的な視点で解決し、超高品質・生産性で世界No.1ダントツ企業となる。

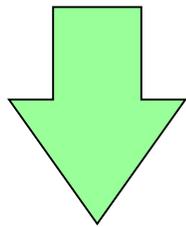
■活動基準（数値目標）

2018年3月期実績

売上高：205億円

経常利益：10億円

経常利益率：5.3%



2023年3月期目標

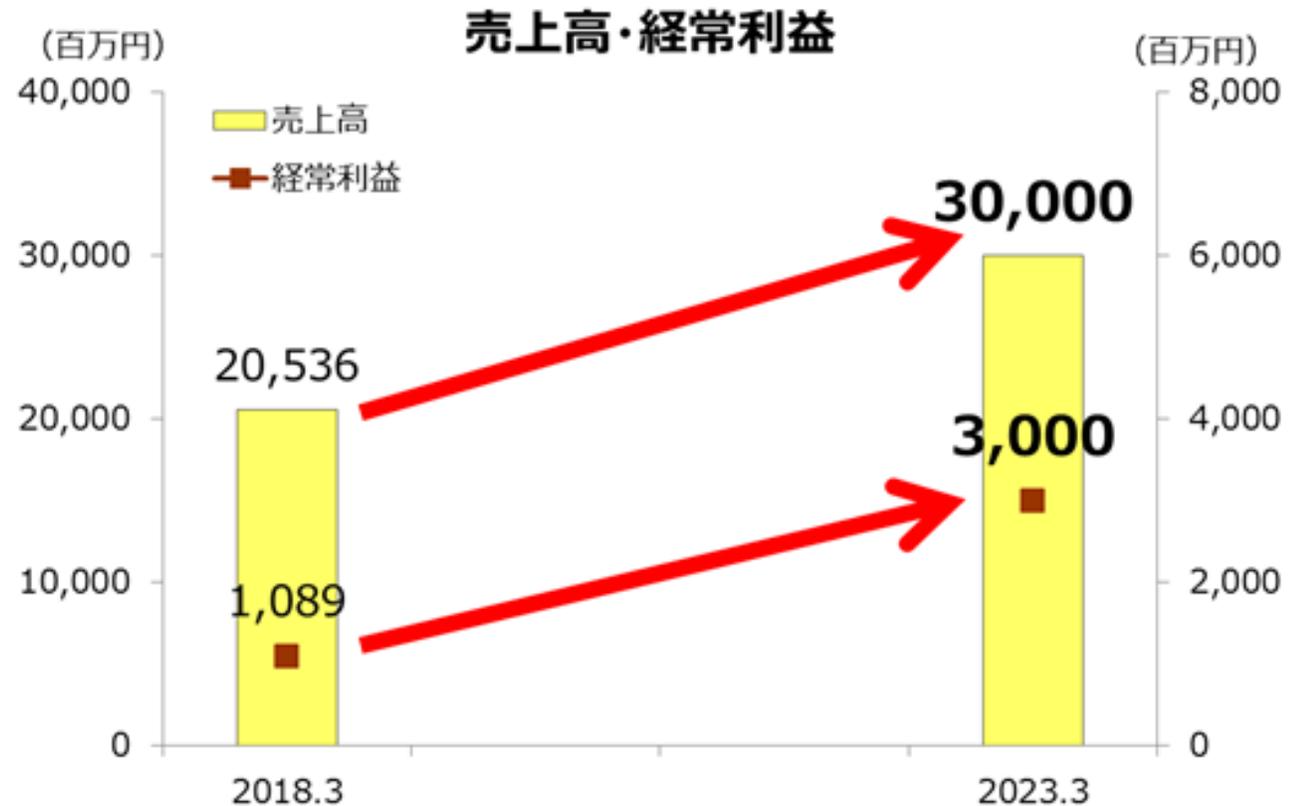
売上高：300億円以上

経常利益：30億円以上

経常利益率：10%以上

設備投資額：120億円

（戦略投資の中期経営計画期間累計）



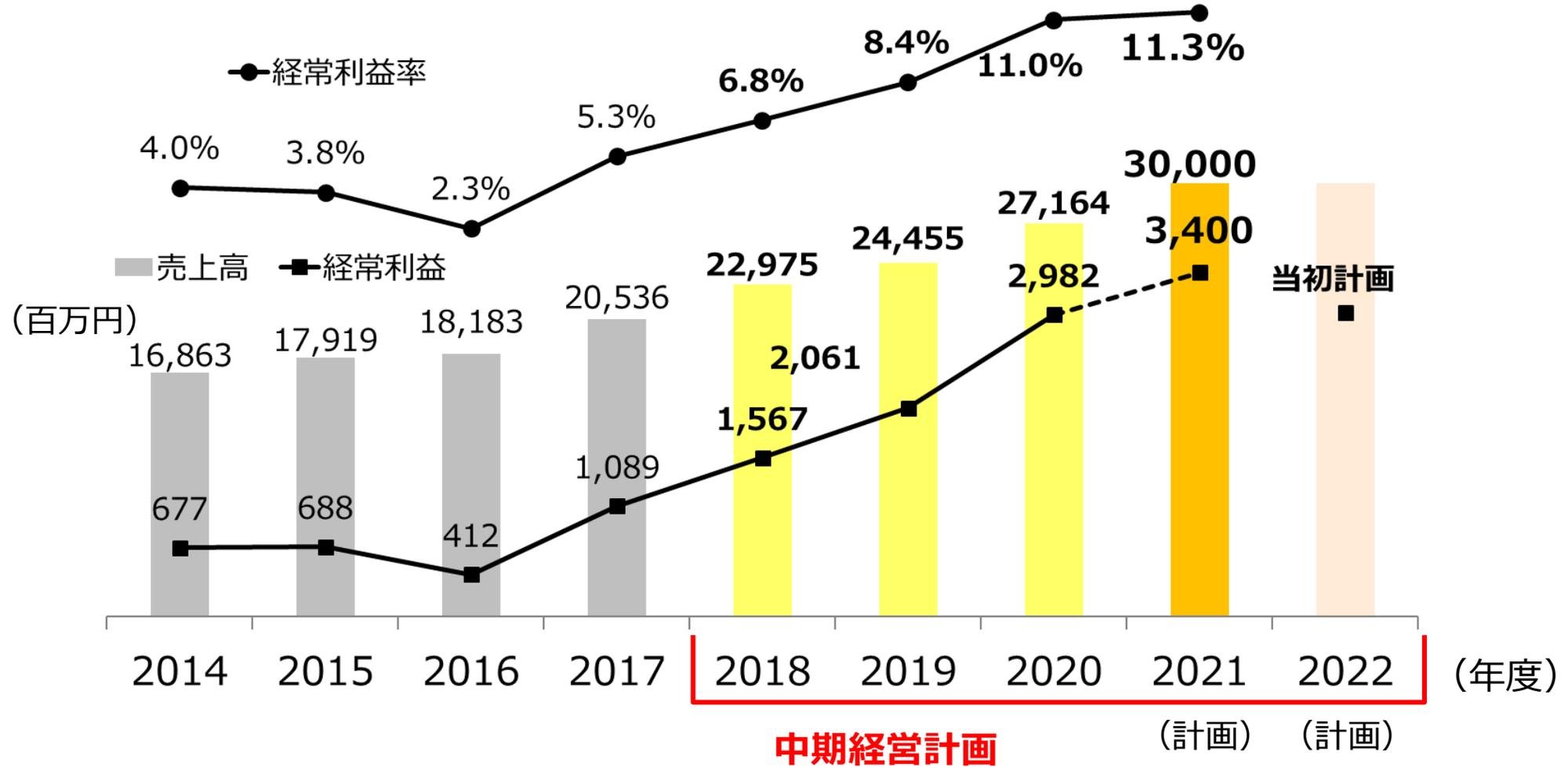
- 通期業績公表値に対する上期進捗率は、売上高が約50%、各利益は65%以上。

半導体・電子材料の旺盛な需要により、中期経営計画「TGC300」を前倒し達成予定

(百万円)	2021.3月期 実績	2022.3月期 業績予想	2022.3月期 2Q 実績	進捗率
売上高	27,164	30,000	15,710	52.4%
営業利益	2,939	3,550	2,369	66.7%
経常利益	2,982	3,400	2,360	69.4%
当期（四半期）純利益	2,345	2,400	1,625	67.7%
1株当たり当期（四半期）純利益	295.57円	302.38円	204.79円	—

中期経営計画の進捗

- 中期経営計画「TGC300：2023年3月期 売上高300億円、経常利益30億円以上、経常利益率10%以上」は、2022年3月期に、1年前倒しで達成見込み➡需要拡大が加速。
- 次期中期経営計画 策定中。

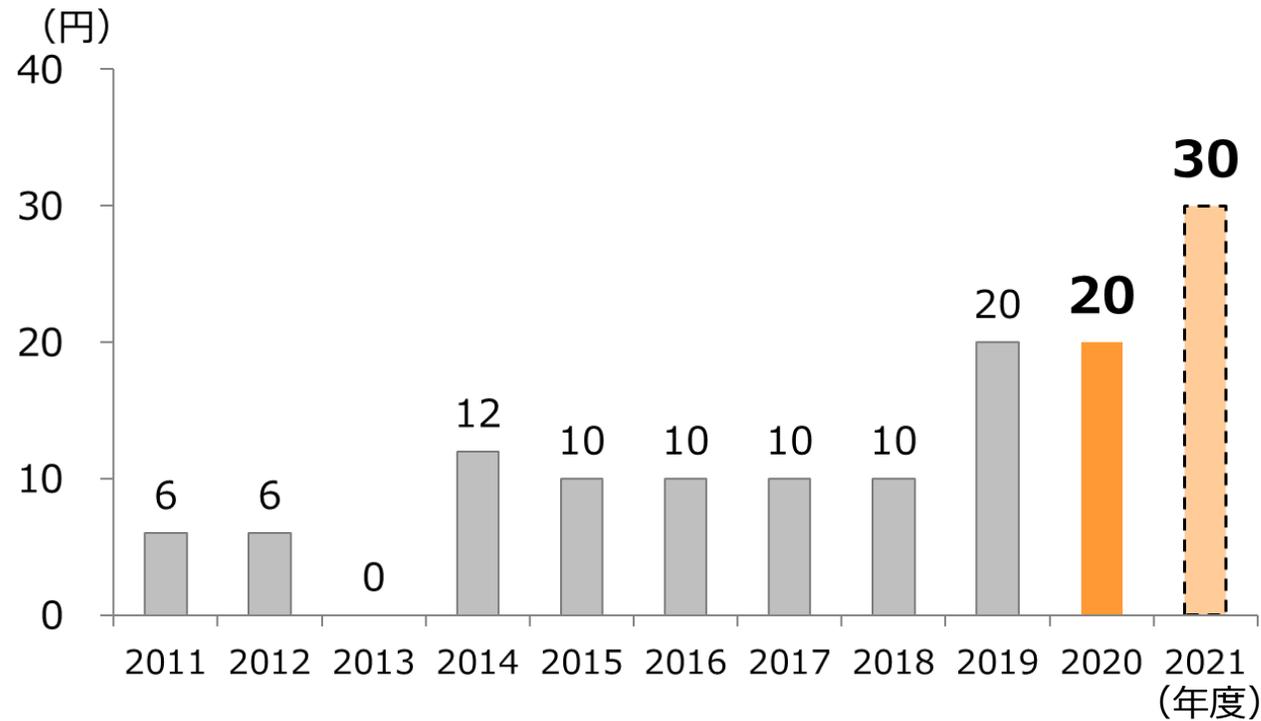


- 当社株価は、過去4年間で26倍（674円→17,590円）、直近2年で10倍（1,604円→17,590円）
- 株主総利回り（直近5年）も19.8倍と、同期間の東証株価指数（TOPIX）1.6倍を大きく超過



- 2022.3期は、TGC300の前倒し達成を計画し、年間配当30円への増配を計画

1株当たり配当金額



株主優待（2020年度実績）



500株以上

送付内容

- 千葉県香取郡東庄町産コシヒカリ 5kg
- 淡路島産たまねぎスープ 10食入り
- 兵庫県産焼き海苔 10枚入り

1. 東洋合成とは？

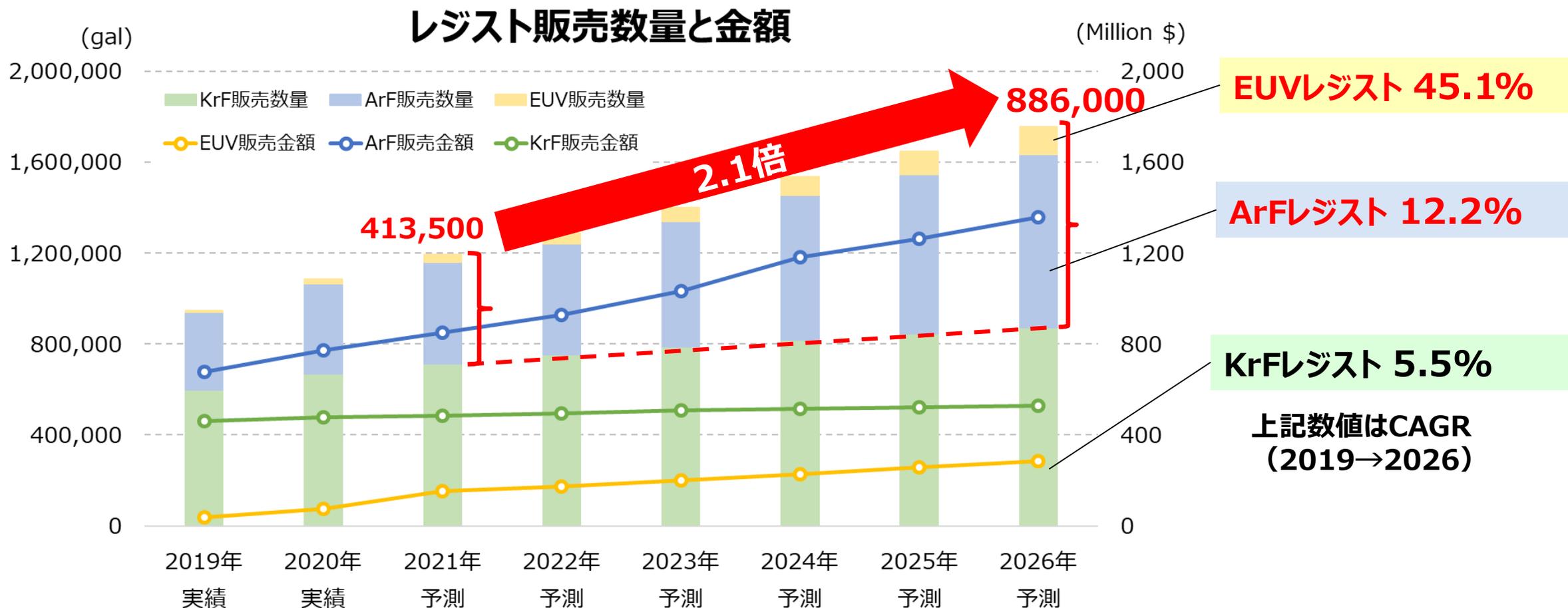
2. 事業内容～なぜ東洋合成なのか？

3. 足元の業績見込み と 中計進捗

4. 今後の成長性

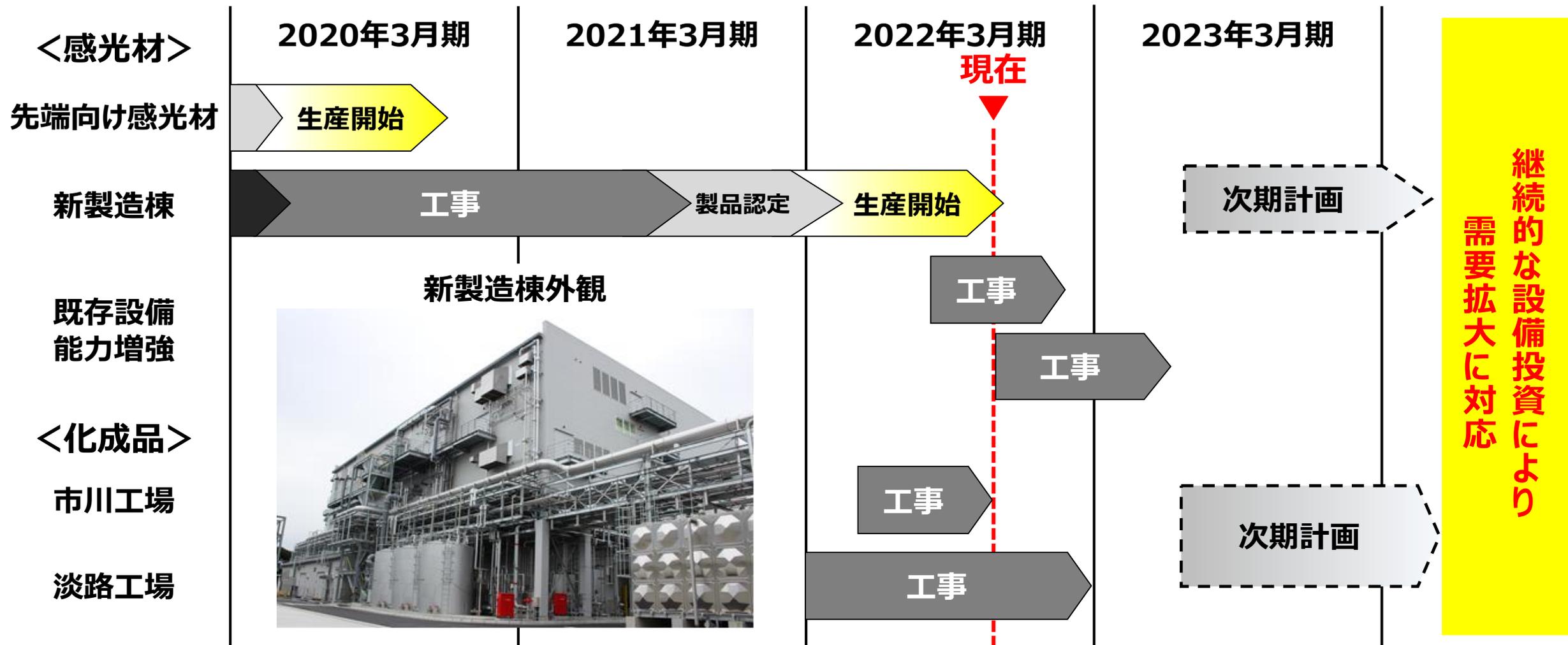
- ArF、EUVレジストの需要量は、2021年～2026年に掛けて、少なくとも2.1倍に拡大見込み
- 直近の年成長率は、市場予測値の約2倍

今後も市場は“継続的に拡大”



各工場の生産能力増強

- 今期から、新感光材製造棟での生産を開始
- 感光材/化成品共に、生産能力増強を継続実施



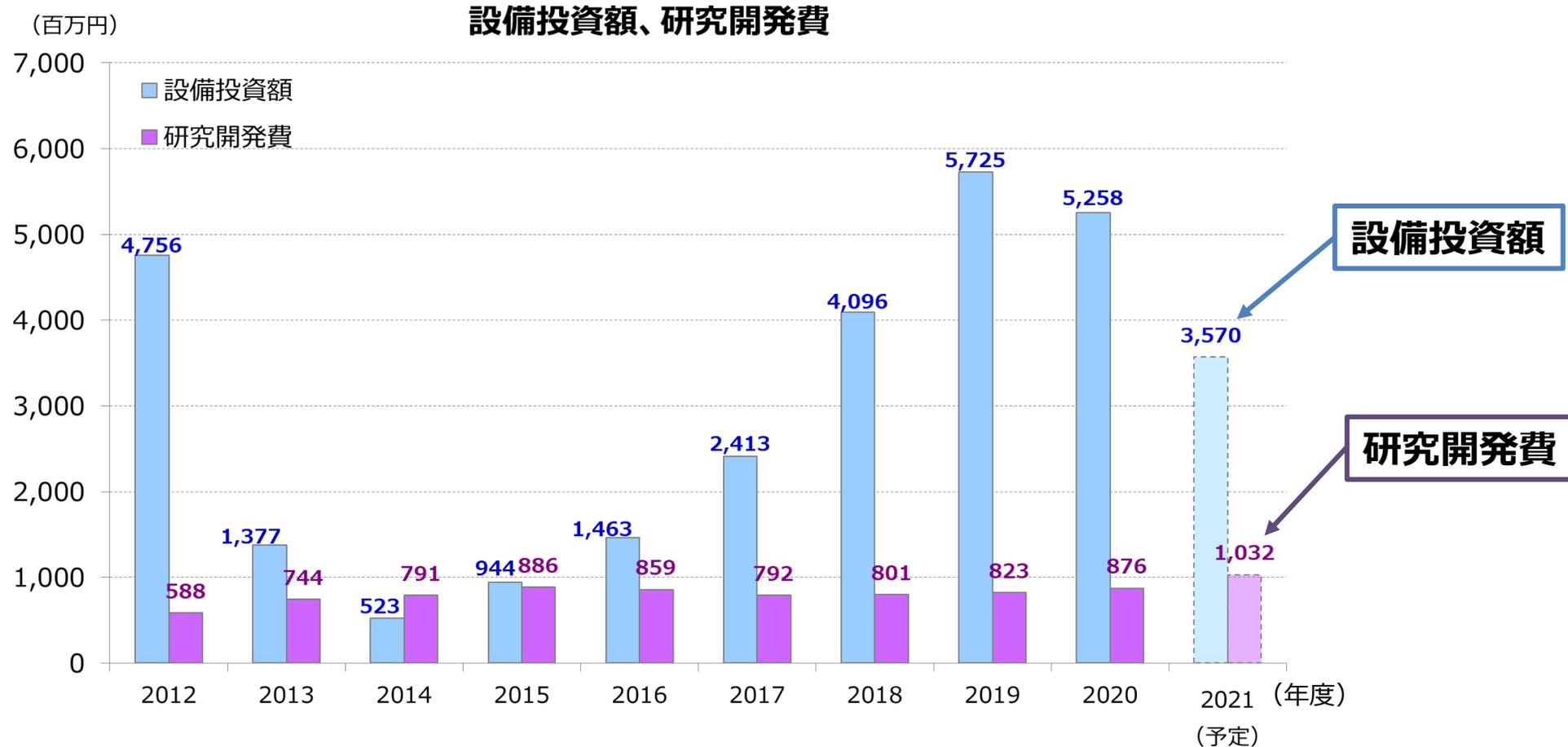
- 今後の需要急増を見据え、千葉工場隣接地を取得。（2021年10月1日プレスリリース）

千葉工場周辺図



“研究開発が生命線”と“成長分野への戦略投資”をポリシーに、強化継続

- 2017年度から継続的に生産能力を増強、今後も継続予定
- 製造技術力向上（分析能力、工程開発、試作ライン）に向け、研究開発投資も加速、強化継続



東洋合成の企業価値

電子材料で
“グローバルニッチトップ”

デバイス製造分野で
“多角的に製品を提供”

全世代で材料を供給
“あらゆるノウハウの蓄積”

R&Dへ積極的投資
“研究開発が生命線”

成長領域への
“戦略的な投資”

独創的な高純度化技術・合成技術・製造技術によって、“半導体材料トップシェア”
社会変革を支えるため、創業以来の“ベンチャー精神”で、
未来へ挑戦し、
供給拡大によって、企業価値向上を図る

独創的な視点で世界へ

Individual Development, to the global Chemical

東洋合成工業株式会社

- (見通しに関する注意事項)
- 本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。
- 従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクにより、この業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。